

内閣府 政策立案ワークショップ（由利本荘市）

人口減少対策として
若者と女性に魅力ある仕事の創出について
—由利本荘市への参考コメント—

2023年3月14日

神戸大学 産官学連携本部
教授 熊野正樹

◆自己紹介



熊野正樹

神戸大学 産官学連携本部 教授
神戸大学アントレプレナーシップセンター
センター長

<学位>

博士（商学）

<職歴>

同志社大学卒→銀行勤務→コンサルティング会社勤務→TV番組制作会社→上場ベンチャー→起業

→同志社大学専任講師→崇城大学准教授→九州大学准教授→神戸大学教授（2020年9月就任）

<委員等>

中小企業庁「高校生向け起業家教育」監修、miyako起業部@K R P顧問、
とやまスタートアッププログラム in 東京 監修（富山県主催）

<著書>

『ベンチャー起業家社会の実現－起業家教育とエコシステムの構築－』ナカニシヤ出版

<受賞>

経済産業省 University Venture Grand Prix 2015 最優秀教員賞
内閣府「第2回日本オープンイノベーション大賞（2020）」文部科学大臣賞受賞

◆起業家教育の実績

起業家教育・スタートアップ創出に注力

- ①熊本県：崇城大学起業部（2014年～2016年）2年間
- ②福岡県：九州大学起業部（2017年～2022年）6年間
- ③京都府：miyako起業部@KRP（2019年～現在）4年間
- ④富山県：とやまスタートアッププログラム in 東京（2019年～現在）4年間
- ⑤神戸大学起業部（2022年～現在）9カ月



部員総数：約1000名、起業数：32社、J-startup:1社、ビジコン全国優勝7チーム

◆起業の3タイプ

	ベンチャー型 (スタートアップ)	中小企業型 (スモールビジネス)	自営業型
雇用	◎	○	×
資金調達	VC投資	銀行融資	銀行融資
業態	新規業態 (IT、テクノロジー イノベーション)	既存業態 (建設・製造・卸売・ 小売・運送業等)	既存業態 (飲食・ネイルサロン・ 美容室等)
成長性	急成長	低成長	低成長

学生起業は、スタートアップが理想
安心して挑戦できる起業方法
投資と融資の違いを知る

- ▶ 学生は、銀行から借金できない。
- ▶ 投資を受けて、起業することは可能。

◆神戸大学起業部

■2022年5月に創部した、
本気で起業（**スタートアップ**）したい学生が集まる
神戸大学アントレプレナーシップセンターが公認する部活動

■「サッカー部がサッカーをするがごとく起業部は学生起業する」
をコンセプトに活動する





サッカー部が
サッカーをするがごとく
起業部は学生起業します

The best way to predict the future is to create it.
一緒に未来を創造しよう!

活動日：週2回の全体ミーティング。(毎週月曜・木曜：18時～21時予定)
日々の活動はチームごとに自由に。

活動場所：産官学連携本部棟 3F

定員：50名(応募者多数の場合は選考します)

顧問：熊野正樹(神戸大学アントレプレナーシップセンター長・教授)

設立：2022年5月

問い合わせ先：神戸大学アントレプレナーシップセンター 事務局

mail ☒ ksui-entre@office.kobe-u.ac.jp

入部説明会等の詳細はWEBで情報発信中

<http://www.innov.kobe-u.ac.jp/entre>



神戸大学起業部 部員募集中

マネージャーも
募集中!

新入生はもちろん、学部2年から大学院生、留学生も大歓迎。
楽しく、本気で活動しましょう。

入部説明会

4月 現地開催：13/木, 17/月, 20/木,
ZOOM開催：24/月, 27/木

いずれも18時から

場所

産官学連携本部3階 or ZOOM

※状況により変更の可能性あり。詳細はWEBサイトで。



NEWS

ビジコン・全国優勝
経済産業大臣賞受賞

第19回キャンパスベンチャーグランプリ全国大会



第19回キャンパスベンチャー
グランプリ全国大会にて、
起業部チームチャン5が
最優秀賞にあたる
経済産業大臣賞受賞 2023/2/3

入部説明会の申込みはコチラから

<https://forms.gle/uu3hZfCWmxfEYsHeA>

※説明会申込みWEBより行います



入部資格

- 神戸大学に在籍する学部生、大学院生で
- ・起業家、起業準備中、起業の意思がある人
- ・起業部の運営に関わるマネージャーを希望する人

※起業家とは社長だけでなく、CTOやCFO、など
スタートアップ創業のメンバーを含みます。



Twitter



Instagram



KOBEUNI_KIYOUBU

起業部でできること

- ・同じ志を持つ仲間とのつながり
- ・支援者、起業家コミュニティとの出会い
- ・起業、経営に関する学びや支援を受けられる

マネージャー募集について

- ・企画、運営・マネジメントスキルが身につく!
- ・就活支援あり
- ・任期的な成長を約束します。

◆起業部の活動活動概要

- 部員が考えた新たなビジネスプランをもとにチームを編成し、ビジネスプランを磨き上げ、プロトタイピングを行い、国内外のビジネスコンテストに応募しながら起業を目指します



- 毎週 月曜日と木曜日（1800～2100） + α

※別途、課題準備、振り返り、チーム活動、合宿あり

- 期間：1年間（更新制）

- 場所：産官学連携本部棟起業部部室、理学部Z棟ほか

◆起業部が目指していること

Our Mission

素晴らしい仲間と共に
希望ある未来社会を創造する

凡事徹底

- ✓ 部活を休まない
- ✓ 挨拶・報・連・相の徹底
- ✓ 期限厳守

Our Vision (目指す状態・姿)

日本を代表する起業家輩出組織になる。
「起業するなら神大起業部」というブランドを作る。

Our Target (目標)

起業部発ベンチャーを
創出する
(10年で30社。うち、3社上場)

ビジネスコンテストで
毎年、全国優勝する

Best Practicese (行動指針)

- ①人間力、社会人基礎力を磨く。
- ②アウトプットする(行動に表す)。経験から、仲間から、挑戦から、プロセスから学び続ける。
- ③自律的に学び、支え合い、創り、振り返り、成長を自覚する

社会課題の解決、
社会的インパクト、
希望ある社会づくり

社会への影響力や貢献力の積み重ね

顧客の
喜び

中高生の
希望

卒業生の
活躍

法人の
設立

起業部の
成長

支援者の
増加

チームの
成長

個人の
成長

◆年間プログラム体系（2023年度）

	4～6月	7～9月	10～12月	1～3月
部活動	事業立案、チーム編成、事業磨き、プロトタイピング進捗報告、フィードバック			
	<ul style="list-style-type: none"> ・アントレセンター推奨科目（スタートアップセミナー、社会人基礎力、自己理解、チーム理論など） ・起業理論、ピッチ資料、ビジネスモデルなど 		<ul style="list-style-type: none"> ・ビジネスプランニング、バブソン大集中講義など ・本チームでの事業磨き上げ、学習サイクルの促進 	
	★説明会	★懇親会	★チーム編成	★チーム編成
		▲夏合宿9/4～9/6	▲面談・レポート	▲面談・レポート
		夏休み7/25～8/20	冬休み12/21～1/10	春休み2/16～3/13
ビジネスコンテスト	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> ※お披露目のデモデイと、6つのビジコンにエントリーを通じて活動成果を形にし、発表・腕試しを行う </div>		①キャンパスVG（10/31締め、12/6実施） ②ミライノピッチ（11/4締め、12/10実施） ③神戸大ビジコン（11/30締め、1/27実施） ④JUMP（11/30締め、1/下旬実施） ⑤スタートアップ甲子園（1/6締め、3/5実施） ⑥Japanビジネス・デザイン・アワード近畿（1/24締め、3/16実施）	
		①神戸大起業部デモデイ（8/26実施予定）		※2022年度の締め実施日を記載
関連科目	<ul style="list-style-type: none"> ・VスクールFBL（プロトタイピング可能な事業チームが対象） ・各学部の関連科目やPBL、Vスクールの関連科目など 			
アクセラレーションプログラム	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> ※採択可能性のある事業は事前相談の上、各種アクセラプログラムのエントリーを目指す </div>		<ul style="list-style-type: none"> ・1st Round（年2回） ・Wincubation（11/30締め、3ヶ月支援） 	<ul style="list-style-type: none"> ・起動（1/5締め、6ヶ月支援）

◆参考： 昨年の様子



4/1 起業部発足「朝日新聞」



4/14～ 起業部説明会



5/19 起業部発足



7/23 神戸大デモデイ



9月～ 部室完成、
事業の磨き上げ



第19回キャンパスベンチャーグランプリ
全国大会で最優秀賞受賞。
経済産業大臣賞受賞



11月～ ビジコン
シーズンに優勝&入賞
チームが多数。



崇城大学☆起業家育成プログラム



崇城大学 『起業部』 の挑戦

No attack No chance
挑戦しなければ、チャンスはやってこない。
創業的なチャレンジを胸に挑んだ学生たち。
彼らは、崇城大学に所属する100名超の学生が中心で「起業部
SOJO Ventures」に所属する学生たちです。
創設の起業サークルとは一線を画し、専任教員と
一流のアドバイザーが指導する大学公認起業部
「起業部」という、自他本陣のメンバー。
日々奮闘する上、創業を成功に導いている
起業部の取り組みと、その挑戦を伝えています。

SOJO Ventures
設立：2014年4月1日
代表：野正樹
所在地：〒670-0192 兵庫県三木市三木町1-1-1
三木キャンパス
TEL: 079-361-1111
FAX: 079-361-1112
E-mail: sojoventures@sojo.ac.jp

2014年4月1日～2016年3月31日

崇城大学

総合教育センター
准教授 熊
野 正 樹



崇城大学

SOJO UNIVERSITY

薬学部 / 生物生命学部 / 工学部 / 情報学部 / 芸術学部

- 崇城大学（旧名：熊本工業大学）
- 学生数：3489名（1学年800人）
- 5学部10学科の理工系の総合大学

2015年度

起業家育成プログラムの展開

2014年4月開始



薬学部 / 生物生命学部 / 工学部 / 情報学部 / 芸術学部



起業家育成プログラム

講義科目

部活動

学生起業支援

2014年に日本初の大学公認の起業部設立

◆ ビジネスプランコンテスト（学外）

起業部創設3か月

部活動

UVGP 2014 全国大会出場 12/20



発表する姿はベテランのもの。数々のコンテストに出てきた経験値が滲みます。



【写真左】装束時の重々たる姿はまさにヒーロー！
【写真右】ヒーローレグの实物。制作初期より功なり改良されて実際に履けるようになっています！



Presenters	
1	北陸先端科学技術大学院大学 「Dreamphros (ドリームパロス)」 幼少期と保育期の業務をもっともスマートに実現する！ クラウド型の電子連絡帳。「ゆめちよろ」サービス
2	九州大学 「九州大学アントレプレナーシップクラブ (Q.E.C)」 ドローンジェネシス - ドローンが実現する未来 -
3	東京大学大学院 「Powerful Power (パワフルパワー)」 電力自由化の最適電力価格メニューのマッチングサービス 電力版NCC-BOX (電話最安料金自動切り替え機)
4	大阪大学、京都大学 「eQbin (イーキュービン)」 駅急便 (えききゅうびん) ——クラウドソーシング型駅間配送サービス
5	慶應義塾大学大学院 「dricos (ドリコス)」 世界初の「誰もが開発に参画できるマイボトル向け 飲料自販機」Pattle (パトル)
6	東京大学 「The Maverick」 Personal health data management platform named TailoredHealth
7	東北大学 「ワークイノベーション」 留学生むけ体験採用型求人サイト 「シゴト×トライアル」(シゴトラ)
8	奈良先端科学技術大学院大学 「One Night Dry」 漁村の経済活性化に寄与する3Dソナーシステムの開発
9	崇城大学 「Hero egg」 装着型移動走行機 (EV) 「ヒーローレグ」の開発・販売

経済産業省主催 University Venture Grand Prix 2015 (UVGP2015)

部活動

学生部門：アントレプレナー賞受賞／堤君（応生3年）・・・実質3位

教員部門：最優秀教員賞受賞／熊野（総合教育センター）

経済産業省より、堤君はシリコンバレーへ、熊野はバブソン大学への派遣（2015年3月）が決定しております。



◆シリコンバレー研修

2015.2.16 - 21

部活動

<研修内容>

2/16 (Day1) スタンフォード大学アジア太平洋研究所 講義

2/17 (Day2) HP Garage、スタンフォード大学、Tech Shop (ロボット製作)、サンブリッジUS訪問

2/18 (Day3) Draper University (リーンスタートアップの講義)

2/19 (Day4) Plug and Play Tech Centerにてプレゼンテーション

2/20 (Day5) Google訪問、500 Startupsにてプレゼンテーション

- ▶ 大阪市主催のシリコンバレー人材派遣プログラムに参加。
全国の大学より30人が選抜。うち、崇城大学より5名参加。
- ▶ ビジネスプランのプレゼンテーションのトレーニングを中心に、シリコンバレーのスタンフォード大学、GoogleやAppleを訪問
- ▶ シリコンバレーの投資家の前で全員が、英語でビジネスプランを発表。



Google本社にて



スタンフォード大学にて



サンフランシスコ総領事公邸



英語でプレゼン
Plug and Play Tech Center

◆第2回崇城大学ビジネスプランコンテスト

主催：崇城大学 熊本県 NEDO

日時：2016年1月23日（土）13時～

場所：市民会館崇城大学ホール

収容：1500名

応募総数：100チーム

日本最大規模



講義／部活動

崇城大学 SOJO UNIVERSITY
熊本県
NEDO
SOJO Ventures Innovation for Entrepreneurs
NICT 情報通信研究機構

学生ベンチャーによる地方創生

優勝賞金 50万円

第2回 崇城大学ビジネスプランコンテスト (熊本県オープンビジネスコンペティション2016)

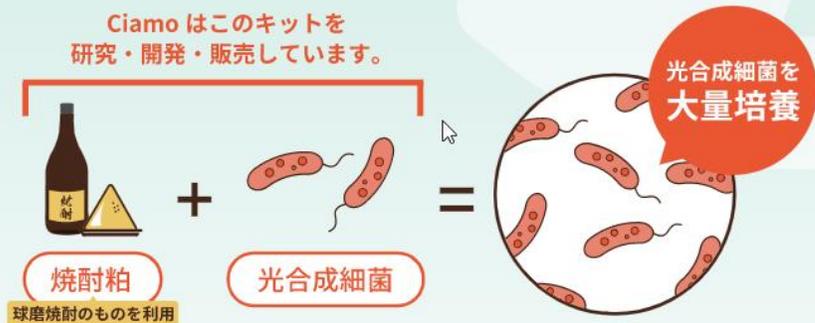
開催日 2016年1月23日(土) 13時～ 場所 市民会館崇城大学ホール
応募締切 2015年11月27日(金) 18時必着
詳細 <http://www.sojo-v.com>

主催：崇城大学 熊本県 国立研究開発法人 新エネルギー・産業技術総合開発機構 (NEDO)
協力：SOJO Ventures、独立行政法人情報通信研究機構 (NICT)
協賛：Draper Nexus Ventures、btrax、アマゾン データサービス ジャパン(株)、日本マイクロソフト(株)、(株)サイバーエージェントクラウドファンディング、(株)ドーガン、ポート(株)、and more!
後援：熊本県、経済産業省九州経済産業局、総務省九州総合通信局、九州ニュービジネス協議会、中小機構九州熊本県工業連合会、大学コンソーシアム熊本、熊本日日新聞社、NHK 熊本放送局、熊本放送、テレビ熊本 熊本県民テレビ、熊本朝日放送、FM 熊本、くまもと経済、新日本有限責任監査法人

入場無料

◆株式会社 Ciamo (崇城大学発 学生ベンチャー)

Ciamoは焼酎粕で培養可能な光合成細菌を、大量に培養するためのキットの研究・開発・販売を行なっています。



光合成細菌は、農水産業や医薬品、環境問題の解決など、さまざまな分野で注目されている微生物です。しかし、光合成細菌は「高価」という大きな課題があります。そこで付加価値の低い「焼酎粕」を利用することで、従来よりも安価に提供し、農水畜産業の発展に貢献します。

私たちは、この事業を通して、焼酎粕の処理にかかるコストをゼロにし蔵元の負担を減らします。そして焼酎粕が宝となり、農水畜産業の生産性・品質向上のみならず、環境に配慮した安心安全な食を世界中の人々に届けます。



NIKKEI.COM

光合成細菌「くまレッド」(崇城大)

崇城大学(熊本市)公認の部活動、起業部から生まれたスタートアップのCiamo(シアモ)が製造・販売する農家向けの商品が注目を集めている。コメやレンコンなど水を張って栽培する作物の根腐れ防止に効果があ



◆本プログラム運営上の課題と解決

1. 地方にはロールモデルがない

<解決策>

- 東京やサンフランシスコのネットワークを活用する。
- 熊本にロールモデルをつくりたい！！

2. お金がかかる

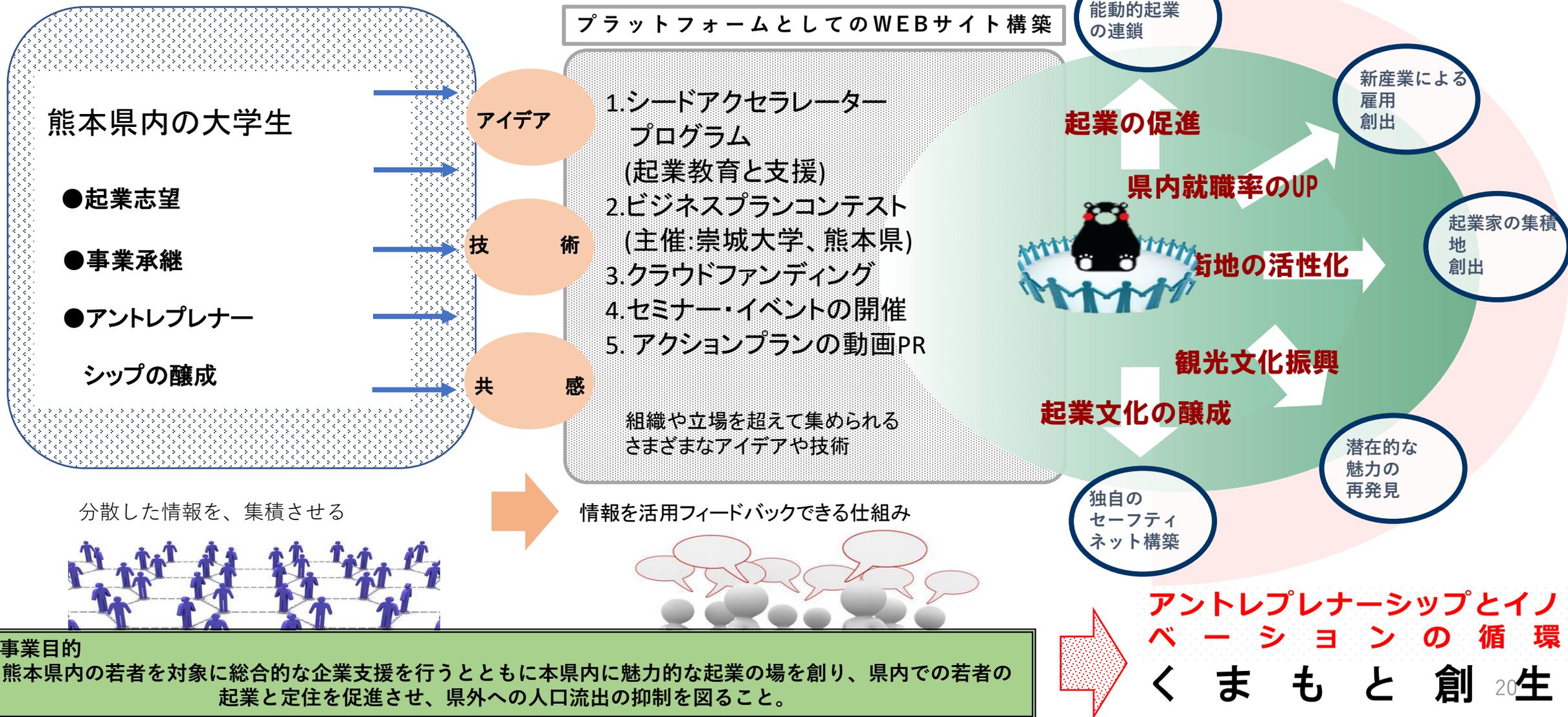
<解決策>

- 大学当局との厳しい交渉による予算確保
- 地方創生予算<県からの受託事業>
- 外部資金確保・・・NEDO、地元金融機関、企業

2015年度は4000万円確保

熊本県と崇城大学の連携協定 ワサモンのまちづくり推進事業 「起業家教育による地方創生」

◆ 崇城大学起業家育成プログラムを
熊本県全体に展開



◆九州大学起業部の事例

熊野正樹(九州大学准教授)、高橋優人((一社)QU Ventures、九大起業部事務局)、飯塚統(メドメイン(株)代表取締役)、坂本剛(QBキャピタル(同)代表パートナー)、廣渡嘉秀((株)AGSコンサルティング代表取締役社長)

概要

「サッカー部がサッカーをするがごとく、起業部は学生起業する」のもと、2017年に創部。チームでビジネスプランを作成し、国内外のコンテストに応募。実践的な活動を第一線のメンターらの支援のもと実施。全国の起業部の先導役として、わが国の起業人不足の解消を目指す。

目的

学生起業家予備軍に対して、起業家やベンチャービジネスの専門家、大企業からなるメンタリングチームが伴走しながら、学生を起業家に育成し、大学の知財を活用したベンチャーを創出。起業家不足解消や地方創生に寄与することを目的とする。

内容

起業部学生を支援するために起業家、ベンチャーキャピタリスト、弁護士、公認会計士などの専門家を組織化し、支援。さらに地元企業と提携し、大企業と学生のオープンイノベーションも実施。さらにスタートアップ都市に力を入れている福岡市と連携し、人材育成と大学技術を活用した起業の促進などのロールモデルにも取り組んでいる。

効果

設立2年3か月で15社起業。第1号ベンチャー(メドメイン(株))は既に**3億円以上**を調達し、60名を雇用。さらに活動を効果的にするため(一社)QU Venturesを設立し、安定的かつ継続的な運営基盤を構築。様々なメディアでも盛んに取り上げられ、全国の起業部の原点とも言える。



ココがポイント!

わが国の起業部の先導役であり、地域企業、自治体などとも密に連携し、地域の産業活性化にも大きく貢献。地方創生の優良事例として官邸招聘。大学においてもアントレプレナー教育や知財の有効活用などの面で価値ある取組。

国内外のビジネスプランコンテストで大活躍



NEWS

九大発・AI病理画像診断「PidPort」開発のメドメイン、病院グループやVC複数などから11億円を調達

#Medmain #日本

SCORE 1,510



Masaru IKEDA

2020.08.24

SHARE:



↓ J-Startup

九州大学「起業部」

九州大学で、全国でも珍しい「起業部」が、今年10月1日に発足した。部長は熊野正樹准教授。入部希望者は150人を超え、10月10日に150名を超過した。熊野准教授は「習うより慣れろ」をモットーに、学生が実践的に学べる環境を整えている。

九州大部活に「起業部」

本気でなければ入部お断り



九州大起業部の「起業家第1号」となった藤塚さん(左)と、共同でソフト開発に取り組みする学生ら。13日、福岡市、田幸商校撮影

熊野准教授は「習うより慣れろ」をモットーに、学生が実践的に学べる環境を整えている。入部希望者は150人を超え、10月10日に150名を超過した。熊野准教授は「習うより慣れろ」をモットーに、学生が実践的に学べる環境を整えている。

熊野准教授は「習うより慣れろ」をモットーに、学生が実践的に学べる環境を整えている。入部希望者は150人を超え、10月10日に150名を超過した。熊野准教授は「習うより慣れろ」をモットーに、学生が実践的に学べる環境を整えている。

熊野准教授は「習うより慣れろ」をモットーに、学生が実践的に学べる環境を整えている。入部希望者は150人を超え、10月10日に150名を超過した。熊野准教授は「習うより慣れろ」をモットーに、学生が実践的に学べる環境を整えている。

九大に「起業部」

九州大学で、全国でも珍しい「起業部」が、今年10月1日に発足した。部長は熊野正樹准教授。入部希望者は150人を超え、10月10日に150名を超過した。熊野准教授は「習うより慣れろ」をモットーに、学生が実践的に学べる環境を整えている。



九州大起業部には150人の入部希望者が殺到した。(提供=熊野准教授)

熊野准教授は「習うより慣れろ」をモットーに、学生が実践的に学べる環境を整えている。入部希望者は150人を超え、10月10日に150名を超過した。熊野准教授は「習うより慣れろ」をモットーに、学生が実践的に学べる環境を整えている。

熊野准教授は「習うより慣れろ」をモットーに、学生が実践的に学べる環境を整えている。入部希望者は150人を超え、10月10日に150名を超過した。熊野准教授は「習うより慣れろ」をモットーに、学生が実践的に学べる環境を整えている。

事業案部活で磨く

環境作り 九大など設立

熊野准教授は「習うより慣れろ」をモットーに、学生が実践的に学べる環境を整えている。入部希望者は150人を超え、10月10日に150名を超過した。熊野准教授は「習うより慣れろ」をモットーに、学生が実践的に学べる環境を整えている。

よくわかる 学生起業

熊野准教授は「習うより慣れろ」をモットーに、学生が実践的に学べる環境を整えている。入部希望者は150人を超え、10月10日に150名を超過した。熊野准教授は「習うより慣れろ」をモットーに、学生が実践的に学べる環境を整えている。

「習うより慣れろ」大学も動く

熊野准教授は「習うより慣れろ」をモットーに、学生が実践的に学べる環境を整えている。入部希望者は150人を超え、10月10日に150名を超過した。熊野准教授は「習うより慣れろ」をモットーに、学生が実践的に学べる環境を整えている。

Forbes JAPAN



九州大学「起業部」
学術研究・産学官連携本部 熊野正樹准教授

熊野准教授は「習うより慣れろ」をモットーに、学生が実践的に学べる環境を整えている。入部希望者は150人を超え、10月10日に150名を超過した。熊野准教授は「習うより慣れろ」をモットーに、学生が実践的に学べる環境を整えている。

熊野准教授は「習うより慣れろ」をモットーに、学生が実践的に学べる環境を整えている。入部希望者は150人を超え、10月10日に150名を超過した。熊野准教授は「習うより慣れろ」をモットーに、学生が実践的に学べる環境を整えている。

九州大「起業部」7月始動

熊野准教授は「習うより慣れろ」をモットーに、学生が実践的に学べる環境を整えている。入部希望者は150人を超え、10月10日に150名を超過した。熊野准教授は「習うより慣れろ」をモットーに、学生が実践的に学べる環境を整えている。

学生経営者の卵入部を

九大「起業部」7月始動

熊野准教授は「習うより慣れろ」をモットーに、学生が実践的に学べる環境を整えている。入部希望者は150人を超え、10月10日に150名を超過した。熊野准教授は「習うより慣れろ」をモットーに、学生が実践的に学べる環境を整えている。

富山県の事例

東京で起業を学び、富山で起業しよう！というプログラム

とやまスタートアッププログラム in 東京



令和元年より首都圏在住者向けに東京で実施

2年目から全国から受講可能（富山県除く）

4年目からは富山県在住者も受講可能（東京会場・富山会場をオンラインで同時開催）

富山県では、地域活性化に向け東京23区等から移住して富山県内で起業した場合に最大300万円(移住支援金最大100万円+起業支援金最大200万円)を支給する制度を創設しました。
この制度にあわせ、都内で起業家育成プログラムを初めて実施します。富山県に移住し、起業、特にスタートアップを志す方を応援します!

第1期生募集

起業家教育の第一人者による指導

起業にあたって必要となる知識の習得、ビジネスプラン作成等について、学生ベンチャーの創出で注目される九州大学起業部顧問である熊野正樹准教授より直接ご指導いただけます。(全6回)

東京都内・土曜日での開催

首都圏在住の方に受講いただけるよう、プログラムは東京都内にて実施します(全6回のうち1回は富山県内で実施)。また、学生や社会人の方にも違いやすいよう、土曜日で開催いたします。

ベンチャーキャピタルを招いたピッチ大会

プログラムの最終回には、投資家を招いたビジネスプラン発表会も予定しております。プランやアイデアを形にするチャンスです。

プログラム修了後のバックアップ

プログラムの修了後も(公財)富山県産世起業機構等に継続的にバックアップしていきます。

九州大学起業部顧問
講師 熊野正樹

講師からのメッセージ

富山からグローバルにチャレンジするスタートアップを創出したいと思っています。ビジネスプランの作成からメンタリング、資金調達の支援、ネットワークキングの支援を富山県と一緒にしていきます。一緒に未来を創造しましょう。



とやま
スタートアップ
プログラム
in東京

9月開講

in東京



【募集要項】

- 実施時期 ※詳細は募集要項
2019年9月～2020年2月(全6回)
- 開催場所
◆都内コワーキングスペース(5回)
〈会場提供協力〉fabbit株式会社
(<https://fabbit.co.jp/>)
- ◆富山県内(1回)
- 対象者・定員
首都圏在住で、本プログラムを受講後2年以内(学生の場合、卒業後2年以内)に富山県で起業し、移住を希望する18歳～40代の方20名程度

- 受講料
10,000円(全6回分)
- 応募期間
2019年6月14日(金)～2019年7月31日(水)
- 応募方法
下記URLより申込書をダウンロードし、Eメールにてお申込みください。
【URL】<https://www.tonio.or.jp/semi/ijyuu/>
【送付先】akeieishien@pref.toyama.lg.jp
- 受講生選定方式
申込書、履歴書による書類審査を実施します。



ブースにてお待ちしております!!



とやま
スタートアップ
プログラム

東京で起業を学び、
富山で起業しよう

in東京

プログラムの流れ



受講風景

フロンティア
アップ
in 東京

TOYAMA
STARTUP
PROGRAM
in TOKYO




TOYAMA
STARTUP
PROGRAM
in TOKYO

受講風景

富山県

とやま
スタートアップ

TOYAMA
STARTUP
PROGRAM
in TOKYO

東京で起業を学び、
富山で起業しよう



受講生のみなさんへの期待

- 子ども達に明るい展望の見える富山を引き継いでいくため、富山県の経済に、次の時代の成長の種をまかなければなりません。
- 長く失業率が開業率を上回る状況が続いてきた本県において、「起業」を志す方は、まさに地域経済における「成長の種」であり「希望」です。
- 産官学金が連携し、誰もが起業にチャレンジできる環境を整備し、本県を起業家の伸び日本一の県、新しく力強くワクワクする稼げる産業を創出する県にします。
- 「ワンチーム」として、一緒にワクワクする富山県、ワクワクすることがたくさんある富山県、チャンスがあり夢を叶えることができる富山県と一緒に実現してまいりましょう！

『One for all, all for one』

19



TOYAMA
STARTUP
PROGRAM
in TOKYO



成果 発表会

とやま
スタートアップ
プログラム in 東京

DEMO DAY

2020



◆若者の起業を通して地域を活性化

- 地方創生のポイントは東京一極集中・少子高齢化の解消
- すなわち若者の流出防止→働く場が必要→なければ創ればよい→起業
- スタートアップ企業は経済の子供。子供のいない街は発展しない
(少子高齢化と一緒に)

◆若者の起業を通して地域を活性化

スタートアップエコシステムをいかに構築するのか？

□起業したい若者を発掘する仕組みづくり

□起業したい若者を支援するしくみづくり

◆由利本荘市への提言

- 県立大学と一体となって、
起業したい若者を発掘し支援する仕組みをつくる

- 起業家教育を実施する（小・中・高、県立大学、若者向け）
- 起業部をつくる（県立大学起業部 or 由利本荘起業部）
- 県立大学の起業家教育、起業支援の強化、学長のコミットメントとリーダーシップ
- ビジネスプランコンテストを実施する
- 東京・仙台のスタートアップエコシステム視察・ネットワーキング
- 海外視察（シリコンバレー、イスラエル等）
など

- そのための予算を確保する

- まずは、ひとつ、ロールモデルをつくることが重要